

(議案第73号)

平成28年度下水道事業  
特別会計歳入歳出決算  
認定の議定

問 森田議員

下水道会計に一般会計からの繰入金2億6700万円の法定内繰り入れと法定外の内訳は。

答 川村上下水道課長

基準内2億1856万7000円、基準外484万3000円。

問 池沢議員

繰入金の財源は。

答 筒井総務課長

すべて一般財源であり、特定財源は入っていない。

(議案第79号)

平成29年度一般会計補  
正予算の議定

問 山崎議員

保育料の無料化・軽減について、子育て支援の一步として評価する。

しかし、平成29年6月議会の第2子以降無料の答弁が新聞報道もされ、子育て世代から喜びの声を聞くことができた。この期待をどう受け止めるのか。

また、高知市より進んだ施策にとの声が教育総合会議で出ていたと聞く。高知市は同時入所の場合、すべての第2子が無料となっている。同時入所だけ見れば第2子はいの町は半額の世帯がある。

この施策は、子育て支援、少子化対策で町長が公約したものであるが、いの町で子育てしたいと思えるくらいのインパクトがあるか疑問が残る。  
所得制限を設けた説明の中で、「段階的に」の言葉があったが、まだ拡充してい

く意思があるのか。

答 池田町長

教育総合会議で、全部に無料化ではなく、段階的にという意見をいただいた。高知市は第2子が同時入所

で無料となっているが、第1子が卒園すると無料だった子どもに保育料が発生し、負担感が生じることになる。町の場合は同時入所の制限を外しているの

で、ずっと半額でいける。国の施策も子育て支援に對して段階的に進んでいくということなので、後手に回るのはなく、先行して子育て支援を推進していきたい。そうすることによって、移住・定住の促進が図れると考えている。

問 森議員

吾北総合支所耐震改修工事の取り壊し中にアスベストが出てきた。このことは仕方ないにしても、他の改修場所はいくつか当初設計時に、盛り込むこともでき

たのではないのか。

答 和田吾北総合支所長

当初から設計業者・担当者・各課担当者と検討し、施工中にも協議を重ねているが、途中で判明したアスベスト処理や予想以上の施設の老朽化などもあり、必要最小限の対応となった。

問 森議員

観光費の需用費の中に、木の香温泉の配管修繕が含まれているが、工事請負費の中で取り扱うことはできないのか。

答 天野本川総合支所長

配管修繕料は、漏水箇所を修理し現状の機能回復を図るために急を要したもので、工事請負費は機器の更新・新設である。

問 井上(敏)議員

総合案内所の委託料は、平成30年度も行うとすれば

との発言だが、それなら委託料をなぜ計上したか。労務費・研修費などをつぎ込み平成29年度だけで中止するか。

この総合案内所は多くの求めに応じて開始しているため、平成30年度も継続していくことを前提に年度末までに十分検討すべきだ。

答 筒井総務課長

総合案内所は、次年度以降も継続の要望が住民から上がっている。補正に組み込んだということは、基本的に平成30年度以降も続ける意向のもとで、費用対効果や必要性も含め検証していく。

答 池田町長

正面の板張り扉の開放や西入口の利用減で、窓口を正面入口にするなどの対策も行った。また、検証するということは委託の検証であり、費用対効果の上からも住民の方の便宜を図れるかどうか検証していく。